

# 平成22年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 浜 宮 小学校
校長氏名	野 田 眞知子
作成日	平成 23 年 2 月 2 日

## 1 教育目標

健康で豊かな知性と感性を身につけ、心身ともにたくましい子どもを育てる 校訓 — 希望 誠実 健康 —

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	情報を積極的に発信し地域の教育資源や人材を活用する。	豊かな体験活動の充実を図る。	国語教育を中心に指導方法の工夫改善を図る。

取組の状況【D】	<p>○学年だより、学校だより等各種通信を出し、積極的に地域や保護者に知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより 月1回</li> <li>・学年だより 月1回以上</li> <li>・校長・教頭だより(旧浜宮だより増刊号) 随時</li> </ul> <p>○総合的な学習の時間や、各教科において、積極的に地域教材や人材を活用する。</p> <p>○教室等を地域の方々に開放する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーズ教室・書道教室・パッチワーク教室</li> </ul>	<p>○環境美化や、図書の実践、元気な挨拶を奨励し、子どもの心に潤いを与える。</p> <p>○自他を大切にすることや、他を思いやる心、ものを大切にすることを育てる学級経営の充実を図る。</p> <p>○地域の方々と積極的にふれあう機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀北支援学校</li> <li>・ふれあい給食</li> <li>・見守り隊への感謝</li> </ul>	<p>○平成21、22年度和歌山市教育委員会より国語科の研究指定を受ける。</p> <p>各学年は、研究授業を必ず実施。研究発表会は3つの学年で行う。(教科等別研修会)</p> <p>他の学年は、教育委員会指導訪問1回、校内授業研究2回、部別学年別研修会1回を実施。その他の学級は、新規採用教員の示範授業をできる限り多く実施し、自らの授業力を高める。</p> <p>○今までの取り組みを継承しつつ、新たな課題に取り組む。</p>
取組の成果と課題【C】	<p>地域や保護者への発信として、学年だより・学校だより等は定期的に発行、学校だよりは、ホームページにアップできている。友友会総会をはじめ、保護者が集まる会には、できるだけ新しい学校や児童の状況を報告し理解を得た。また、地域を教材化した学年の取り組みは、大勢の人々の協力を得ることができた。ただ、今年度も学校全体での計画立案に至らずに、学年担任の力に負うところが多かった。発達段階に応じた学校全体としての計画が必要であり、またしても課題として残った。今年度発達障害の児童に長期的にボランティアとして地域の方の協力を得ることができたことは有難かった。</p>	<p>耐震工事をしていただき、外観も幾分新しくなり、校内がさらにきれいになった。元気な挨拶で、登校する児童の姿が見られたことは喜ばしい。校務員さんの力に負うところも多々あるが、校庭がきれいに整っている。季節の花も児童の手により咲きそろい、子どもたちの心を癒している。「みどりの少年団」を結成し、校庭に花や緑を増やす活動も行った。運動場の芝生は、工事のため真ん中が傷んではいないが、緑が目に入り心身ともに癒してくれている。地域の方たちとの触れ合いは、今年度も学年間で行うことができた。さらに地域と学校とのつながりを深めていきたい。</p>	<p>今年度も10月に教科等別研修会で、国語科の授業を実施した。昨年度「ことばの力」向上の指定も受け取り組んだが、引き続き国語科以外の教科でもその向上を図るため、話し合い活動に重きを置き取り組んだ。低学年より読みを深めることや、自分の思いや考えを表現させるための取り組みを学年に応じて行った。その成果として自分のことばで表現しようとする児童が増え、ただ言うだけではなく、聞く人に理解してもらえるような表現の工夫も見えた。</p>
改善方法【A】	<p>地域や保護者の方々には「いつでも来てください」と広く学校を開放している。しかし安全面を考慮し、校門を閉ざしていることから、常時にきていただくのは難しかった。現在行っている文化的な教室に新メンバーが加わった。学習や、土曜教室に保護者や地域の方々にボランティアとして加わっていただけ、有難かったので、広く呼びかけたい。また、校内の状況を詳細に伝える校長・教頭便りを随時発行するようにしたい。</p>	<p>次年度もさらに教育環境の保全に努め、情緒豊かな子どもの育成を図りたい。毎日の掃除を児童とともにやり気持ちのよい挨拶を心がける。地域の方々との交流を通じてより豊かな人間性を育てたいと願っている。運動場の芝生は、子どもたちの使用頻度が高く土の部分が目立っているが、春になれば、はまゆうグループさんをはじめ地域のご協力を得ながら、芝生を子どもたちと一緒に増やしていく計画である。</p>	<p>長年続けている国語教育研究で培った能力を各教科にどのように生かしていくかを意思統一し、全校で取り組む。各学級で取り組んでいる語彙を豊かにするための工夫を出し合い、言語に関する能力を高める。自分の身近なところで読みたい本が読める工夫をするなど、読書活動をさらに推進する。全国統一テストから課題として上がっている漢字やローマ字を定着させるための工夫を行う。各クラスで行っている朝の会での「ことばの力」を向上させるための取り組みを全校的に行う。</p>

## 4 その他の課題

--

